みんなの文芸

俳句・短歌を募集

4日必着

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 榎本順江 選　投稿数 35 句

二人居の黙を繋ぐやちちろ虫　皆野　引間　千鶴

(評)今日の仕事も一区切りつき、夜の茶の間でくつろぐひと時。あれこれ長話も途切れると、今まで気付かなかったコオロギのにぎやかな鳴き声が二人を捉えます。会話の後は静かに虫の音に浸り、一日を振り返り、明日を思う、二人の静かな夜です。二句目、古民家がレストランやカフェになり、落ち着いた雰囲気に人気があるようです。秋の草花が咲くカフェへの道筋に、ひときわススキの穂が目立ちます。風に揺れるススキの群が〝どうぞこちらのカフェへ〟と誘っているようです。作者もススキに誘われ、おいしいコーヒーで一服だったのでは。三句目、閉校となった校庭に車が並びました。今日は地域の神社のお祭りで、お神楽が舞われます。舞いには伝統継承を担う子どもたちも大勢いる様で頼もしい限りです。いつもは静かな地域のにぎわいが思われます。

古民家のカフェ誘へり尾花かな　国神　鈴木　正文

在神楽閉校跡の駐車場　上日野沢　四方田利男

無花果のワイン煮映える白磁かな　皆野　櫻井　早苗

式部の実高貴の色に染めあげし　国神　藤原マキ子

秋蚕飼い濡れて桑摘む母を恋ふ　下田野　新井　節子

ひらがなのメール届きぬ敬老日　三沢　新井　叶子

秋澄みて野草を学ぶ野辺歩き　皆野　萩原　初恵

災禍なき平和な郷里に生きる秋　皆野　根岸　詩子

つづらふじ床に設え秋茶席　皆野　悠利

善くもまあ鳩の啄む実山椒　三沢　新井　民子

ほとばしる水やりトマトのまぶしい日　三沢小教員　橋本　瑞紀

おやまにねにじがなかよくわらってる　三沢小一年　山口　隼輝

短　歌（投稿順）

電柱のてっぺんまでも登りつめ萩は花咲き風にゆられし　国神　藤原マキ子

久し振りに従妹の訪問ありがたし積もる話に心の和む　下日野沢　浅見　豊子

温暖化氷河崩れて土石流ネパールニュース驚き見いる　上日野沢　四方田利男

不穏なる世界の現状見たり聞く女総理の手腕や如何に　皆野　根岸　詩子

ハッとする良く似た顔に気付く時亡母の齢に追いつく私　皆野　萩原　初恵

秋雨を連れて過ぎ去り台風が粋な演出セピア色の空　皆野　大澤　貴夫

栗飯の香りほのかな今朝の膳小さな幸を想ひつつ食ぶ　三沢　新井　民子

慶寿なる祝の会に招かるるお礼の言葉に声の掠れる　三沢　新井　叶子

庭隅に今年も増えて彼岸花雨にも負けずじっと耐えてる　下田野　新井　節子

マスコミがシルバーウイーク取り上ぐもずらす祝日しっくりいかぬ　皆野　引間　万亀

ソウル駅通路を行けば段ボール箱の囲ひし家々のあり　皆野　打木　昭廣

普通には到底できやしないけど僕しかできぬことがあるのサ　皆野　林田　凛太

山芋のハートに溜まる雨粒をキラキラ眺め雨あがりかな　皆野　駒形の縄文人